令和5年度 姿川第二小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標	心身ともに健康で，知的好奇心と思いやりにあふれる豊かな心を持ち，社会の変化に対応してたくましく成長し続けることができる児童を育成する。	
(2) 具体目標（姿二の子）	健康で何事にもくじけずたくましくやりぬく子ども	（がんばる子）
	工夫と努力によって自ら学び続ける子ども	（工夫する子）
	思いやりがあり，友達と仲良く助け合う子ども	（やさしい子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

子どもは地域の宝であり，子どもたちの健やかな成長は地域全体の願いである。私たち教職員は保護者や地域と共通の目標を持ち，子どもたちが夢を抱き未来に向かって成長し続けるための基盤を培うべく，使命感を持ち，全力で教育にあたる。子どもたち一人一人がより豊かで充実した学校生活を送り，よりよい生き方を指向できるよう，地域に根差した特色ある学校教育を推進し，知・徳・体バランスのとれた力の向上を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 学業指導の充実	○基礎・基本の定着や読解力・表現力の育成を基盤に，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を展開し，学級を学びに向かう集団に成長させていく。
(2) 心の教育・学級経営の充実	道徳科を核にした心の教育や認め励ます教育をさらに充実させ，思いやり，たくましさ，自信や自己有用感などを育み，互いに認め合い励ましあえる一人一人の居場所となる温かい学級づくりを推進する。
(3) 体力の向上・健康の増進	○教科体育の充実，外遊びの奨励等を通して体力の増進を図る。感染症防止や望ましい食習慣，生活習慣の改善などを正しく理解し健康を維持・管理する能力，及び自らの命を守り抜くために危機を回避する能力を育成する。
(4) 地域に根差した活気ある学校づくりの推進	児童の主体的な活動を認め支援するとともに，地域の教育資源と地域人材のさらなる開発と活用の工夫を図る。
(5) 社会の変化に対応する力の育成	○英語教育，プログラミング教育，宇都宮学など，ICTを効果的に活用しながら新たに求められる教育活動を適切に展開するとともに，SDGsに係る現代的な課題等に対応し持続可能な社会づくりに向けた意識の涵養に努める。
(6) 教職員の資質の向上	キャリアや教職員のよさを生かした協働的運営の推進と学校業務の焦点化を図るとともに，一人一人が自覚と使命感をもって絶えず研究と修養に努め，時代の要請に即応する教育の実践を目指す。
(7) 学校における働き方改革の視点	学校行事の見直しなど業務を精選するとともに勤務時間を意識した働き方を推進し，地域の人材を教育活動に取り入れるなどの工夫を行う。

[宮の原地域学校園教育ビジョン]

心豊かで輝く子どもの育成 ～ほめて伸ばす（自己肯定感を高める）～

4 教育課程編成の方針

(1)	本校の教育目標を達成するために必要な教育の内容を，教科横断的視野で組織的に配列する。教育内容と人的・物的資源を効果的に組み合わせ，本校の特色を生かした教育課程を編成する。
(2)	本年度の重点課題の解決を図る教育課程を編成する。学校経営の方針を柱に，児童一人一人がのびのびとたくましく成長し，安心して学び合える温かな教育課程を目指す。
(3)	読解力・表現力を育成するため，国語科で培った資質・能力が他教科・領域でも活用できるよう単元配置の工夫や，図書館教育との関連や教科横断的な指導を研究・実践していく。

- (4) いじめ・不登校の未然防止を目指し、楽しく活気ある学校、居心地のよい学級づくりを目指す。縦割り班活動や児童会行事等を適切に配置するとともに、時間割の工夫、教科担任制の実施などを通して学校・学年全体で取り組む体制を構築する。
- (5) 気力・体力を増進させ危険を回避する能力を育むため、日々の食育を基盤として、サーキットトレーニング・朝の一分間体操・うつのみや版ミニマム及び各種検定・「一日一回外遊び」などを継続・様々な状況に応じた避難訓練や交通安全教室等の実施を推進する。
- (6) 持続可能な社会づくりに参画できる児童の育成を目指し、SDGsの取り組みを教育活動に取り入れ、環境・人権・国際理解教育をはじめとして横断的カリキュラムの編成を工夫する。
- (7) 地域社会・文化的環境、自然環境等を生かした特色ある教育を編成する。特に、隣接する高齢者福祉施設との交流、鶴田沼の活用等を工夫する。
- (8) プログラミング教育やGIGAスクール構想、デジタル・シティズンシップ教育に伴うICTの活用、宇都宮学、外国語等、時代の要請に応じた学習の確実な実施を図るとともに、すべての学習の基礎となる読書活動を着実に推進していく。
- (9) 日課を工夫し、児童と向き合う時間や教職員の資質向上を図る時間等を確保する。
- (10) 教育課程の実施にあたっては、実施状況の把握・管理に努めるとともに、評価を通して改善・充実に努める。
- (11) 児童が確かな学力を身に付け中学校生活への不安解消を目指すために、地域学校園内の学校との連携に配慮して小中一貫教育を推進し、計画的に「地域学校園あいさつ運動」等を行う。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営

児童も教職員も、自分のよさを発揮しながら生き生きと活躍できる学校づくりを推進する。

 - 「ほめてのばす教育」の実践
 - 挨拶の響く学校づくりの推進
 - ・楽しい授業と居心地のよい温かな学級づくりの推進
 - ・業務の適正化
 - ・時間を意識した効率的な業務の遂行
- (2) 学習指導

読解力・表現力の育成を基盤に、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「宇都宮モデル」を活用した授業を展開する。

 - 学業指導の充実
 - 各教科の基礎・基本の確実な定着と学習規律の確立
 - ・読解力・表現力の育成
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ICTの積極的な活用
 - ・読書指導の推進
 - 家庭学習の習慣化
- (3) 児童生徒指導

心の教育の充実による思いやり、たくましさ、自信や自己有用感の育成と認め励ます教育を推進する。

 - ・「気づく・考える・行動する」児童の育成
 - ・「挨拶・姿勢・清掃」
 - 規範意識の醸成
 - ・主体性を育むための縦割り班活動や異学年交流の充実
 - ・道徳科を核とした心の教育の推進
 - ・自信や自己有用感を育む学年・学級経営の工夫
- (4) 健康（保健安全・食育）・体力

体力の向上・健康の増進を図るとともに、健康で安全に関心を持ち、心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。

 - 望ましい生活習慣・食習慣の形成
 - ・外遊びの奨励「一日一回外遊び」
 - 教科体育を核とした基礎体力の向上
 - ・感染症について正しい知識を身に付け、健康を大切に管理しようとする態度の育成
 - ・危険を予測し、自らの命を守り抜くための判断力・行動力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 児童 90%以上 教職員 90%以上</p>	<p>① 学習課題や発問を工夫し, 児童が意欲的に取り組む活動を設定するとともに, <u>積極的に「ほめてのばす」指導に努める。</u></p> <p>② 本時のねらいを明確にする[○]とともに, 話し合い学び合う場を設定し, 児童が主体的に考え表現できるように指導・支援する。</p> <p>③ 授業の中に書く活動や伝え合う活動を位置づけ, 児童の表現する力を伸ばしていく</p> <p>④ 根拠を明確にして筋道を立てて考え, 効果的な情報や手段を選び, 伝え方を工夫して表現することができるように指導する。</p>		<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A2 児童は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 児童 95%以上 教職員 100% 保護者 95%以上 地域 100%</p>	<p>① 毎週一時間の道徳科の授業を確実に実施し, 体験活動との関連を図ったり, 役割演技を取り入れたりしながら, 人を思いやる心, 生命・人権を尊重する心, 感謝の心, いたわる心を涵養する。</p> <p>② 学級活動や帰りの会等で互いのよさやがんばりを認め合う活動を取り入れ, 感謝の気持ちや自己肯定感を育む。</p> <p>③ 人権教育年間指導計画に基づき, 全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。</p> <p>④ 福祉施設(ケアラザ[○]而今)や昔遊び指導の方々との交流, 祖父母との交流給食会等を通して, 高齢者への感謝の気持ちやいたわる心を育む。</p>		<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

	<p>A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 児童 90%以上 教職員 90%以上</p>	<p>① <u>個に応じた目標を設定できるような学習活動を設定し、それぞれが達成感を得られるように工夫する。</u></p> <p>② 教科の学習や特別活動において、児童が目標をもって取り組む機会を設け、検定表やキャリアパスポートを活用しながら目標達成に向けて努力する姿勢を称賛する。</p> <p>③ 児童を丁寧に観察し、発想や考え方、活動の仕方などのよさやつまずきの原因などを見抜き、児童に前向きな言葉かけをする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 児童 90% 保護者 90% 地域 90%</p>	<p>① 学級活動や体育、学校行事等との関連を図った保健指導や生活指導を行い、児童が自ら健康管理に気を付けられるようにする。</p> <p>② 学校給食や各教科等との関連を図った指導のもと、家庭と連携しながら栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。</p> <p>③ 日常における安全指導を充実させるとともに、交通安全教室や避難訓練等を計画的に実施し、児童一人一人が危機を予測し自ら命を守り抜く行動力を育成する。</p> <p>④ 学校生活における感染症防止対策を徹底し、感染の予防および感染拡大を防ぐよう努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 児童 85%以上 教職員 90%以上</p>	<p>① 宮・未来キャリア教育年間指導計画を見直し、より児童が自らのよさを自覚して夢や目標に向けて取り組もうとする態度を育む。</p> <p>② 学級活動や児童会活動等を通して自分の役割を明確にし、集団の一員としての自覚や自己有用感を育む活動を展開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>2-(1) グローバル 社会に主体的 に向き合い、郷土愛 を醸成する 教育の推進</p>	<p>A6 児童は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】 児童 85%以上 教職員 85%以上</p>	<p>① 外国語活動を通して、言語 や文化について体験的に理解 を深め、主体的にコミュニケ ーションを図ろうとする態度 を育成する。 ② 外国語の授業において、児 童相互でのやり取りの場を積 極的に設けることで相手を意 識してコミュニケーションを 図ろうとする態度を育成す る。 ③ ALT による読み聞かせ等の 機会を設け、英語に慣れ親し めるようにする。 ④ 児童が外国語を身近に触 れ、表現により慣れ親しむこ とができるよう、外国語表記 の掲示物等を置くなど環境整 備を努める。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
	<p>A7 児童は、宇都宮の良さ を知っている。 【数値指標】 児童 85%以上</p>	<p>① 生活科や社会科、総合的な学 習の時間の授業や宇都宮学に おいて、学習内容と関連させ たり、児童が作成した新聞等 を校内に掲示・配置したりす ることで、宇都宮市のよさに 気付く指導を図る。 ② 年間計4回の郷土に因んだ 給食（宮っ子ランチ）や地域 でとれるお米から、宇都宮の 農産物や歴史などに触れ、食 への感謝や郷土愛・食文化を 育むようにする。 ③ 児童会活動、TV集会、学 校長の話、宇都宮市に関する イベント等で、宇都宮市と関 わりのある内容のものを取り 入れる。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>

<p>2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進</p>	<p>A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 児童 85%以上 教職員 85%以上</p>	<p>① 授業において、児童が積極 的に ICT 機器を操作・活用す ることにより、コンピュー ターや情報通信ネットワー ク等に慣れ親しみ、適切に活用す る能力を育てる。 ② 図書の活用や ICT 機器の操 作をする中で、正しい情報 を選択したり、適切に活用し たりするなど、情報モラルの育 成を図る。 ③ 授業における図書館資料の 活用方法や司書との連携の仕 方を工夫していく。 ④ 読書の時間や読み聞かせの 時間、校内読書週間等の活動 を通して、児童の読書意欲を 喚起する。 ⑤ 図書室と各学年の図書資料 の展示方法を工夫したり、お すすめの本を紹介する活動 をしたりすることで、児童が 気軽に図書資料に触れること ができるよう環境を整える。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
<p>2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進</p>	<p>A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 児童 85%以上 教職員 85%以上</p>	<p>① SDGs についての掲示をし たり、世界の情勢から環境や貧 困について考える機会を設け たりすることで、児童に興味 関心をもたせ、身近に感じて もらえるようにする。 ① 生活科や社会科、総合的な 学習の時間等の学習におい て、生き物や環境への関心 を高め、身の回りの環境と調 和しながら生活する意識や 態度を育成する。 ② 東日本大震災をはじめとし た過去の災害の具体事例から 学ぶ教材を工夫し、防災教育 の充実を図る。 ③ 図書室の本や各学級文庫で SDGs について取り上げ、 気軽に本を手にとって読む ことができる環境を取り入 れる。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>

<p>3-(1) インクルーシブ教育システムの実践に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員 100%</p>	<p>① 特別支援コーディネーターやSCM、かがやきルーム担当、児童指導主任を中心として、<u>特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援体制を構築する。</u></p> <p>② 校内対策委員会や校内支援委員会を適宜開催したり、QU研修会を実施したりして、個に応じた支援計画を再検討し、全校体制での支援を行う。</p> <p>③ 個別の支援計画に基づき、教員同士が連携しながら合理的配慮に伴う指導に努めるとともに、適切な支援が行えるよう、かがやきルームやSCの効果的活用を推進したり専門機関と連携を図ったりする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>3-(2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 児童 100% 保護者 90%以上 地域 100%</p>	<p>① 「いじめはどの児童にも起こりうる」との認識のもと、未然策防止の充実を図り、いじめの起こらない学級づくりや人間関係づくりに取り組む。</p> <p>② いじめを早期に発見できるような児童が相談しやすい環境を整備するとともに、教育相談やアンケート等を通して児童理解を深め、信頼関係の構築に努める。</p> <p>③ いじめ事案の対応の際には、全教職員の協働体制と同一歩調のもとに、「組織的な対応」を心掛ける。</p> <p>④ いじめや児童間トラブルがあった際には、見逃さずに丁寧に対応するとともに、随時保護者にも連絡する。</p> <p>⑤ <u>各種便り・学校ホームページ・学級懇談・いじめゼロ集会などで学校での取組を発信するとともに、授業参観時の全校道徳の実施等、取り組みの理解と周知に努める。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 児童 95%以上 教職員 100% 保護者 90%以上</p>	<p>① 「学校が楽しい」「学校は居がいがある」と思えるように、教職員が、児童と温かいかわりをもつように心掛ける。</p> <p>② 学年内、学校内で行き渋り児童の情報を共有し、多角的な視点できめ細やかな早期対応を行う。</p> <p>③ 部会やケース会議等で、児童の状況に合わせて達成できそうな目標を設定して、校内資源（人や場所）及び個人用タブレット端末のクラスルームを活用しながら、組織的・計画的に支援を行う。</p> <p>④ 保護者の心情を踏まえた上で、保護者の理解や協力を得ながら支援を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>3-(3) 外国人児童生徒等への 適応支援の 充実</p> <p>3-(4) 多様な教育的 ニーズへの 対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 児童 90%以上 保護者 90%以上</p>	<p>① 一人一人の児童の人格を尊重し、児童主体の活動を展開する。</p> <p>② <u>児童に成就感を抱かせることができるように、「ほめてのばす」指導に教職員が協力して取り組んでいく。</u></p> <p>④ 今後も外国人児童や帰国子女等について全教職員で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>⑤ 教育活動全般において、国籍や文化の違いについて正しく理解し、国籍や文化の違いを認め合い尊重し合いながら生活できるよう資質を高めていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>4-(1) 教職員の資 質・能力の 向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 児童 90%以上 教職員 90%以上</p>	<p>① <u>基本的な学び方についての流れを共通理解し、分かる授業を目指して指導方法や指導形態を工夫する。</u></p> <p>② 授業の「めあて」や「ねらい」を明示し、児童の学習に対する意識を高める。</p> <p>③ 学習のまとめや振り返る活動を大切にするとともに、分かる喜びや「できた」という達成感を味わうことができるような授業を実践する。</p> <p>④ ペアやグループ活動での学習が深まるような指導・支援を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>4-(2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員 90%以上</p>	<p>① 「チーム姿二」を合言葉に、学校の諸課題への対応や学校行事の準備・運営・改善等に教職員が助け合いながら一丸となって取り組むように努める。 ② 教職員のそれぞれの強みを生かし、互いに高めあうことのできる組織運営に努めるとともに協働性を高めることに視点を置き、困難を感じる業務や課題点について気軽に相談し、助け合える雰囲気を作る。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
<p>4-(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員 80%以上</p>	<p>① <u>業務の効率的な実施や計画的な処理</u>を心掛け、働き方改革を推進する。 ② 教職員の負担軽減に向け、学校の組織運営の改善や日課の見直し、学校行事等の精選、実施内容の見直しを行う。 ③ ICTに関する各種システムのスキルを効率的に活用し、業務の負担減を図る。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
<p>5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 教職員 85%以上 保護者 80%以上</p>	<p>① 「小中一貫教育・地域学校園」制度の検証・見直しに伴い、小中一貫の日、教職員の研修、児童生徒の交流計画などの見直しを図る。 ② 地域学校園便り等の各種便り・HP等で各部会の取組を積極的に発信していく。 ③ <u>小中で児童生徒に関する情報交換や共有、教科指導等に関する共通の取組等を推進し、9年間を見通した指導・支援を行う。</u></p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
<p>5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充</p>	<p>① 児童にとって地域をより身近に感じることができるよう</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>

<p>5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>実を図っている。 【数値指標】 保護者 85%以上 地域 85%以上</p>	<p>う、地域の活動やPTA・育成会等の活動を紹介し啓発を図る。 ② 地域協議会や関係機関との連携を図り、地域人材の情報を集め、可能な範囲で栄養教諭や学校図書館司書との連携を図る。 ④ 各種ボランティアを依頼し、きめ細やかに児童育成を図り、ボランティアの方々の声を各種便り（ボランティアだより）で紹介するなど地域の教育力を活用した教育活動についての広報活動を充実させる。 ⑤ 教科横断的な視点をもって活動の見直しを図り、充実を図る。各学年の発達段階や教科等の内容によって系統的に実施する。 ⑥ 直接見学に行けないときはICTを活用した授業展開を工夫する。</p>	
<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員 90%以上 保護者 90%以上 地域 90%以上</p>	<p>① 副校長や学校業務嘱託員、機動班を中心に、日々校内外の巡視を行い、危険箇所の早期発見と迅速な対応に努める。 ② 毎月、教職員による安全点検を実施し、多くの目で危険箇所の発見と対応を行う。 ③ 危機管理マニュアルを整備し、不測の事態への備えを万全にする。 ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止や熱中症予防対策、インフルエンザやその他の感染症まん延予防対策など時期に応じた保健指導や管理に努める。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 教職員 85%以上</p>	<p>① 各クラスで活用できるようにICT機器の充実を図るとともに、指導力の向上を図る。 ② ICT機器の操作だけでなく、授業での活用を積極的に推進したり、教材やデータを共有したりすることでより効果的な活用ができるようにする。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>児童 95%以上 教職員 90%以上 保護者 90%以上 地域 95%以上</p>	<p>① 教職員が率先して挨拶を行い学校全体で挨拶が日常化する環境を作る。</p> <p>② 道徳科で、挨拶のよさや気持ちよさを実感できるような授業を展開する。</p> <p>③ <u>全校児童による挨拶運動強化週間を定期的に設ける。</u></p> <p>④ 毎月1日を地域あいさつ運動の機会ととらえ、保護者に通知するとともに、PTAや地域と連携しての<u>挨拶運動を推進していく。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>児童 90%以上 教職員 95%以上 保護者 95%以上</p>	<p>① 「姿二小のやくそく」の共通理解のもと、全職員が同一歩調で指導をする。</p> <p>② 他のクラスの問題事案とその対処法（知的資産）を全職員で共有し、他のクラスで同様の事案が起こらないように未然防止に努める。～予防的児童指導の確立～</p> <p>③ <u>「できている子」「縁の下の力持ちの子」「目立たない子」を大切にして、頑張りを認めほめることで自己肯定感を高める。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B3 児童は、文章を書いたり、読んだりすることを好んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>教職員 85%以上</p>	<p>① 国語科の授業を中心に、「読む」活動の充実を図っていく。</p> <p>② 相手を意識した場面を設定し、相手にわかりやすく表現できる力を育てる。</p> <p>③ 授業の中に書く活動や伝え合う活動を位置づけ、児童の表現する力を伸ばしていく。 A1③再掲</p> <p>④ 読書の幅が広がるように、各学年の授業内容と関連した教育図書や新聞の活用等、学校図書館の環境整備に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

	<p>B 4 児童は、体育の授業や休み時間に、進んで運動したり、遊んだりしている。</p> <p>【数値指標】 児童 90%以上 教職員 90%以上</p>	<p>① <u>縄跳び・水泳・鉄棒など各種検定を実施し、各自に目標をもたせることで、意欲的に取り組むことができるようにするとともに、努力の成果を賞賛し、運動への意欲を高める。</u></p> <p>② 児童会活動等でポスターを作成したり、呼びかけをしたりして一日一回外遊びを奨励し、業間や昼休みの外遊びの活性化を図る。</p> <p>③ 「姿二サーキット」や「パワーアップ体操」の実施により、運動に親しませるとともに、基礎体力や運動技能の向上を図る。</p> <p>④ 家庭に協力を依頼して、運動の習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>学校園 共通</p>	<p>B 5 児童は、自己肯定感・自己有用感を育てている。</p> <p>【数値指標】 児童 90%以上 教職員 90%以上 保護者 90%以上</p>	<p>① <u>学習課題や発問を工夫し、児童が意欲的に取り組む活動を設定するとともに、積極的に「ほめてのばす」指導に努める。A 1 ①再掲</u></p> <p>② 学級活動や帰りの会等で互いのよさやがんばりを認め合う活動を取り入れ、感謝の気持ちや自己肯定感を育む。 A 2 ②再掲</p> <p>③ <u>学級活動や児童会活動等を通して自分の役割を明確にし、集団の一員としての自覚や自己有用感を育む活動を展開する。A 5 ②再掲</u></p> <p>④ 児童会や縦割り班活動、学校行事等の機会に、児童の発想を生かし、主体的に取り組めるようにする。</p> <p>⑤ <u>児童に成就感を抱かせることができるように、「ほめてのばす」指導に教職員が協力して取り組んでいく。</u> A 1 3 ②再掲</p> <p>⑥ <u>「できている子」「縁の下の力持ちの子」「目立たない子」を大切にして、頑張りを認めほめることで自己肯定感を高める。B 2 ③再掲</u></p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。